豊かな移動とは

西松建設株式会社　橋本　守

　私が考える「豊かな移動」は、長距離を移動することよりも、見知らぬ土地をゆっくりと移動することです。

　見知らぬ土地に行くためには、当然長距離の移動が必要になります。その手段は鉄道・飛行機・車がメインになります。どうしても、長距離移動だと肉体的な疲労感を感じてしまい、「豊かな」とは感じられません。自動運転が進んだとしても、一つの空間の中に居続けることに疲労感を感じてしまいます。

　長距離移動した結果、新しい・見知らぬ土地に着いて、そこの土地をゆっくりと歩いてみて回る、ということに「豊かさ」を感じています。できれば一人で目的地を定めずに色々な想像を巡らせながら歩きます。まちの人びとの動き、街並みを眺めながら自分の中で新たな発見を求めています。

　昨年、欧州のインフラ事情の視察でドイツを訪れた際には、朝、ホテルを出て近くの鉄道の駅、公園などをあてもなく一人で（３０分程度）歩き回りました。平日の朝だったので、通勤・通学の人びとや、ジョギングをしている人びとを見ながら、生活ぶりを想像してみたり、街並みを見ながら、その土地特有の文化を感じたりしていました。

大人数での移動も楽しいとは思いますが、一人で新たな発見を求める移動も楽しいのではないでしょうか。

